

原料費調整制度に基づく2025年1月検針分のガス料金について (東京地区等)

東京ガス株式会社

東京ガス株式会社(社長：笹山 晋一、以下「東京ガス」)は、「原料費調整制度」に基づき、2025年1月検針分の単位料金を調整した結果、2024年12月検針分と比べ、1m³(45MJ)につき1.52円(消費税込)下方に調整いたします。

これにより、1ヵ月に30m³のガスをお使いになる標準家庭で2024年12月検針分と比較して、46円(消費税込)ガス料金が下がります。

2025年1月検針分に適用するガス料金については、東京ガスのホームページ等であらかじめお知らせいたします。

1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Fの各料金が適用されます。

(消費税込)						
1ヵ月のご使用量	料金表A 0～20m ³	料金表B 21～80m ³	料金表C 81～200m ³	料金表D 201～500m ³	料金表E 501～800m ³	料金表F 801m ³ ～
基本料金 (円/月)	759.00	1,056.00	1,232.00	1,892.00	6,292.00	12,452.00
調整単位料金 (円/m ³)	176.40	161.55	159.35	156.05	147.25	139.55
(参考) 12月 調整単位料金	177.92	163.07	160.87	157.57	148.77	141.07

2. 標準家庭における影響

(消費税込)			
1ヵ月のご使用量 30m ³ (45MJ/m ³)	2024年 12月	2025年 1月	増減
適用料金(円/月)	5,948	5,902	▲ 46

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量(2018年度～2022年度の5ヵ年平均)に基づき算定しています。
- 口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から55円(消費税込)を差し引いた金額となります。なお、口座振替割引は2025年3月検針分より廃止いたします。

3. 原料価格の変動

(円/t)

	2024年7月～2024年9月 の平均 (12月検針分)	2024年8月～2024年10月 の平均 (1月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	93,880	92,230	▲ 1,650
LNG	93,630	92,100	▲ 1,530
LPG	93,870	90,220	▲ 3,650
基準平均原料価格(b)	57,250		

差額(a-b)	36,600	34,900	▲ 1,700
---------	--------	--------	---------

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

4. 単位料金調整額の算定方法

＜原料価格の変動による単位料金調整額の算定＞

■ 平均原料価格の算定

LNG平均原料価格(貿易統計値)

92,100

×

0.9479

+

LPG平均原料価格(貿易統計値)

90,220

×

0.0546

92,227.60

↓ (10円未満四捨五入)

92,230 円/t

■ 原料価格変動額の算定

92,230 円/t

−

57,250 円/t

=

34,980 円/t

↓ (100円未満切捨て)

34,900 円/t

■ 単位料金調整額(m³あたり調整額)の算定

単位料金調整額

=

34,900 円

/100円×0.0891^{*1}

=

31.09 円^{*2}

*1 変動額100円につき単位料金を0.0891(0.081×1.1)円調整します。

*2 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

5. 標準家庭料金の算定方法

東京地区等

本体料金(税込)

=

基本料金(1,056.00円)

+

調整単位料金(130.46円

基準単位料金(税込) ↑

=

5,902 円

+

31.09 円) ×30m³

↑ 単位料金調整額(税込)

・ 本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m³あたりの単価を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格（57,250円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³あたり0.0891円（0.081円に1.1（消費税）を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が156,200円（調整上限）を超えた場合には、「平均原料価格」は156,200円としてガス料金の調整を行います。